

子持ち・博士持ち・女性のアカデミア外キャリア

Being a mum and a researcher – balancing career in outside of academia and motherhood

公益財団法人京都大学iPS細胞研究財団
主任研究員 望月綾子

子持ちポスドクからアカデミア外というキャリア

今回のキャリアパスセッション登壇者として求められた経歴

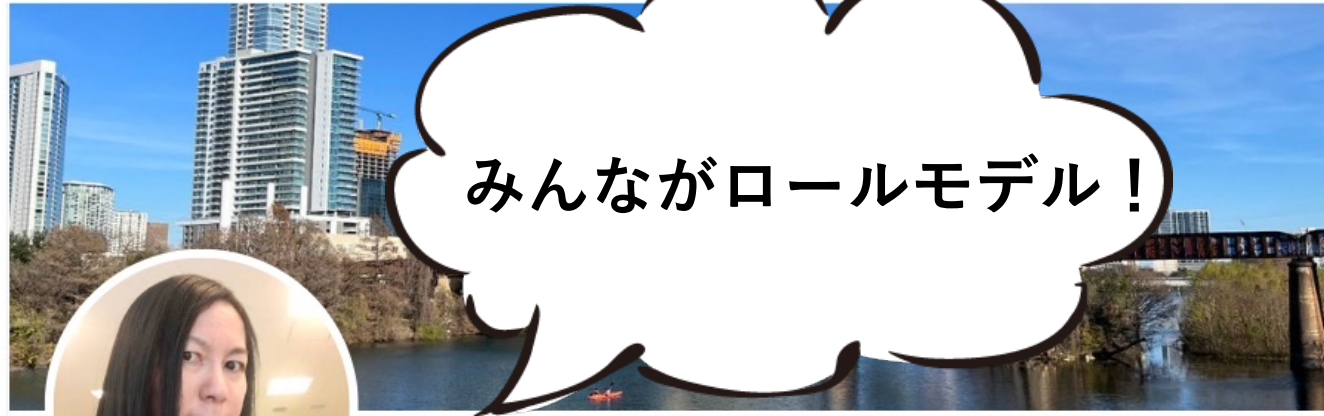
- ・ 博士取得→ポスドク→企業など
ポスドク期間中に出産

周りの子持ち女性博士

- ・ 博士取得→企業など
就職後、出産
- ・ 博士取得→ポスドク/助教
ポスドク期間中に出産



キラキラスーパー研究者キャリアパスを目指せない



みんながロールモデル!

Prof. Keiko Torii
@KeikoUTorii

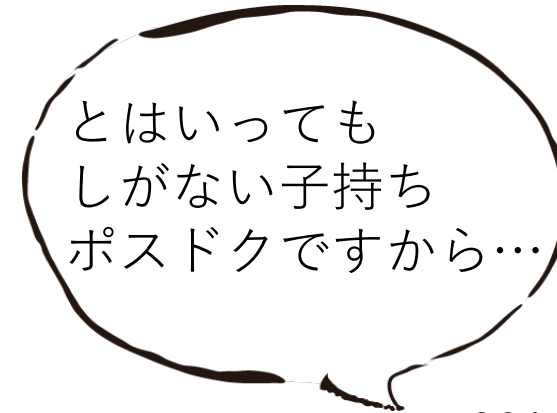
という鳥居先生のダイバーシティ講演を
ポスドク時代に聞きました。

'Plant twitter' via stomatal pores. Mother, daughter, scientist & feminist. Views my own. 鳥居啓子 she/her; For Torii Lab @Stomata_Tweets

📍 AUS TX - SEA WA - NGO JP 🔗 [sciencedirect.com/science/articl...](https://www.sciencedirect.com/science/article...)

📅 Joined February 2012

524 Following 20.3K Followers



私の心の声

2019年



2022年

履歴書の自己紹介

公益財団法人京都大学iPS細胞研究財団品質部主任研究員

2021年4月－現在

京都大学大学院生命科学研究科放射線生物研究センター研究員

2017年-2021年

京都大学大学院医学研究科 再生医学研究所

2018年 博士（医科学）

研究テーマ: マウス個体及びES細胞のゲノム安定性維持機構の解明



現在の仕事内容

iPS細胞研究財団（臨床用・研究用iPS細胞の製造施設）の品質部に勤務

品質部での仕事：製造したiPS細胞の品質を評価

試験法の開発

他社のiPS細胞分化プロジェクト

品質評価の国際標準化

未知のものを明らかにする
仕事ではありませんが、論
文書いたりもしています。

バイオインフォマティクス学会の皆さんに親しみのあるところだと

iPS細胞の品質評価としてのゲノム解析：

iPS細胞のゲノム異常を全ゲノムシーケンスとSNPアレイで評価

クロミウムsingle cell RNA-Seq

マルチオーム（遺伝子発現とオープンクロマチンの解析）など

共同研究や受託で実施している。

履歴書に載らない自己紹介

京都大学大学院医学研究科

2018年 博士（医科学） 再生医学研究所

学位審査時、妊娠7か月 オーバードクターを複数年していたこともありこのタイミングに…

京都大学大学院生命科学研究科放射線生物研究センター研究員

2017年-2021年

実際に研究をバリバリできていたのは
半分くらいの期間…

2018年 1人目出産 5月に出産、8月から職場復帰

科研費（若手）採択 2年の予算でしたが、産休に重なり
1.5年の予算でした…

2020年 2人目出産 5月に出産、9月から職場復帰

ラボが教授の定年退官に伴い閉まるため、
次を探すことに

公益財団法人京都大学iPS細胞研究財団品質部主任研究員

2021年4月ー現在

2021年5月 夫（博士会社員）単身赴任のため完全ワンオペ生活スタート

ワンオペフルタイム勤務ですが、何とか2年目に突入



2歳児、0歳児を抱えて就職活動

どういう選択肢が考えられるか、自身の状況、何を優先したいのか、をよく考えた。

現実

- 自宅を購入したところだったので引っ越し×
- 実家は遠方なので、支援×
- 勤務可能時間（通勤時間込み）は保育園が開いている時間（8-18時くらい）

希望など

- 任期はない方が良い（3-5年後にまた子供抱えて就職活動したくない）
- 子供が小さいので時間にある程度融通が利く（休みやすい）職場だと良い
- フルタイム（必須）
- あわよくばライフワークを探したい

選択肢

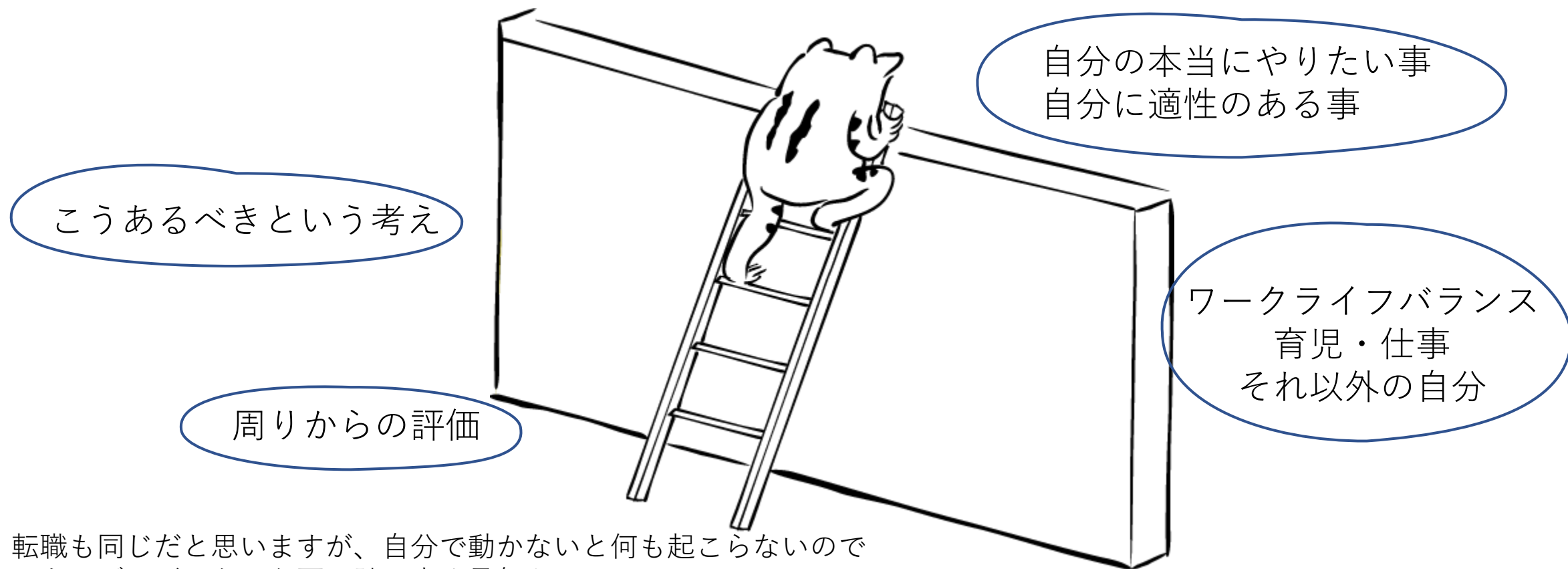
- ポスドク/助教（京大の中でいくつかあった。任期なしポストのみ出して不採用）
- 京大発ベンチャー系（実際受けてオファーレター頂きました）
- 製薬など一般企業（転居×で、通勤時間の制限もあるので、あれば…という感じ）
- その他（現職）

ライフイベントはコントロールできない（ものもある）ので
現状の自分で体当たりするしかない。
出るところはよく考える。（マーケティングと同じ）



基本的に“やるしかない”

潜在意識に刷り込まれた “博士＝アカデミアでなければならない”との闘い



転職も同じだと思いますが、自分で動かないと何も起こらないのでエネルギーがかなり必要。踏み出す勇気もいる。

**言い訳＝杞憂を探すのもやらないのも簡単。選択肢を作るか作らないかも自分。
何を1番にしたいかよく考えた。**

みんながモデルケース

自身の進路に関わらず、博士号取得後の多様性を認める空気があると良い。

他人と同じ道を歩むことは
難しい。
どんな道でも結果として
自分で選んで進むことになる。

今いる地点からは
見えないことが後から
見えることもある。

選択や目標は変わるもの。
自由さ、寛容さは強みになる。
何でもやってみると良い。



みんながモデルケースと言っても、
現状の自分は“そんな大したもの
じゃない”と、思うかもしれない。
歩いているうちに、他人から
こういうパターンもあるんだな、
と思われるようなものだ
と
いつか思い出して
貰えればと思います。